

くろつち便り

今月の内容

くろつち会総会・交流会(6/20)／九条の会講演会(7/5)／原爆祈念集会(8/9)／野草折々84(7エピソード)／Series学校現場から39／ごてれつ45／日米軍事訓練を許さない県民集会in鹿屋(8/2)／**今回の全県集会は9/4日/17:00**



↑会報QRコード

戦争いやだ～県民集会

一日米軍事訓練を許さない
8月2日13時、猛暑の中、自衛隊前付近での「戦争いやだ～」の集会に、県下各地から集まりました。若い方の参加も目立ちました。
米軍はいらない住民の会
代表 真島幸則さん

太陽平和センター
議長 一松莊八さん

戦争は得ることより失うことの方が多いという考えで、子供、孫に安心して過ごせる日本を残すために、今大人が頑張らないと。

志布志の川島さんは最近、妻を亡くされた

そうです。声をつまらせながら

私はたった1人の命(妻の命)と向き合ってきました。生きようとしたんですけど、生きる方法がなかったんです。ミサイルという人殺しの道具は人助けができないんです。

上山修さんは教職という立場から、子ども達の将来を憂えます。

目の前に小さい子ども達がいっぱいいますけど、将来戦争はしたくありません。ここから先がどうなるかわからないと心配です。

ミサイル発射装置を使った訓練は、将来この鹿屋基地にミサイル配備を見越しているからではないですか。私達は、米軍が戦争準備のために鹿屋に来るのは受け入れられません。



この後、シュプレヒコールやガンバロウを励声して、集会を閉じました。(樋園)

学校現場から
シリーズ その39
高山小 関下俊郎

暑い！
葉が飛び
という言

交う中、今年も無事夏休みを迎えることができた。1学期の終業式前は、成績処理と評価、監査、課題作りと毎年忙しい時間が続く。しかし、44年目にして初めて成績処理と通知表作成をすることがなかった。我が母校も本年度から通知表の配布が10月1日になり夏休み前に苦しんできた成績処理と通知表作成が無くなった。この時期にこの仕事が無くなっただけで本当にストレスを感じず授業に専念できた。(この時期毎晩ゆっくりとアルコールの補充ができたのも珍しい...)もし、いつものように3学期制で成績処理や評価をしなければならなかったことを想像

わが母校で...パート②

すると...。37人の成績処理と評価、総合所見がないと考えただけで学期末を気分よく過ごしたのはまじがいない。もちろん夏の研修に合わせ成績処理も通知表も済ませておかなければならないがやはり気分的な余裕はある。また、出校日が1回(8月21日)だけになったり、終業式の日の監査が無くなったり...少しづつ業務改善が進んでいるのだらうと感じる。時にわが母校でもゆとりができるかと学期末の慌ただしい中ではあったが、5年生の学年集会で「平和教育」を行うことができた。いつもなら授業参観の中で行うのだが今年は授業参観の予定が無かったのだから、わずかに10分と限られてはいたがいつものように「大隅地区の戦争遺跡」を紹介した。「トーチカ」「掩体壕」「オリンピック作戦」など、初めて聞く言葉に子どもたちもいつになく真剣な眼差しで話を聞いてくれたようだった。

さて、今年も人事評価の個人面談があったようだが...。毎年面談の希望を募る私は、「面談の計画を立てるので早く都合のいい時間を教えてください」と促すが...。と催促される。しかし、今年は何の声かけもない。他の職員はとくに面談を済ませたというのだが、声がかからないとまた余計に気になるから不思議だ。ひよっとしてこれも「先輩、先輩！」と言ってくる校長の配慮なのだろうか...？



広島・長崎原爆祈念集会

8月9日、毎年行っている祈念集会は今年は台風の影響で実施が危ぶまれたが、開催する頃はだいふ雨も収まり、実施された。

松下徳二市民の会代表

「この集会をかなり長い間実行してきていますので私たちの財産だと思います。」



この後、リレートークで各自の思いを述べた。(欠略して掲載)

◇**上蘭紀夫さん**「(某教授の言から)核抑止力というのは核戦争を前提にしている。核戦争は地球を破滅させるから核抑止力というのはチャンチャラおかしい」
◇**真島幸則さん**「76%が核の三原則堅持に賛成している。一人一人の声は弱いけれど、まとまれば大きくなる」

◇**樋園光子さん**「7日付新聞で、広島市長の言葉は胸に響いたけど、高市総理の言葉は薄っぺらな気がしました。」
◇**永吉浩子さん**「今日はここに立ってるだけでも気持ちを表せるん

じゃないかと思った」
◇**福岡峰子さん**「これから先の子供たちのことを考えるとすごく不安になります。今動かないと、今なんですよ」

歌声の後、松下代表の発声に続いて団結



ガンバロウの唱和、11時2分黙祷を捧げた。(樋園)

ぶっくさうん ことわざの御信 (45)

令和よ、その名を改めよ

2・26事件の翌年に書かれた桐生悠々の「不安なる昭和十二年」という記事がある。防空法施行、大本営設置、国家総動員法成立などが次々と打ち出された頃だ。現在の時局に似ている。桐生は「昭和」という名は「時局にふさわしからぬ名」と言う。成る程、意味が昭(=輝いて明るい)和(=長閑、平穏)だから頷ける。「『昭和』よ、お前は今日から、その名を『暗闘』と改めよ」という激烈な社説だ。

(無論即、特高の検閲に)僕は元号は嫌で、なるべく使用を控えているのだが、桐生悠々に習って考えてみた。まあ一笑置之、一笑に付して脇へ置いて下さい。

元号「令和」は万葉集からとったと言われるが、「令」には「命ずる、詔(みことのり)…」などの意味の他に「令月(2月)」「御令嬢」「御令息」という言葉がある通り、「よい、めでたい、清らか」等の意味もある。従って「令和」には「清らかで明るく、穏やかな世」のような意味もあるだろうと推測する。

しかしそれに値する

世の中に向かって進んでいるとは思えない。

先般オンラインで村山耕次郎講演会(弁護士、かごしま九条の会主催)があった。その中で高市の台湾有事発言がこれまでと大きく異なり中国を刺激して、却って緊張を高めている事実(これまでと異なり台湾有事で集団的自衛権を行使すると明言した)、新安保法制定、憲法改悪化が進み、鹿児島県内も軍事拠点化が進んでいる。これらの問題点、違法性を法律家の立場から解明してくれた。

尾を振る犬は叩かれずという諺があるが、

高市はアメリカ訪問の際トランプに「世界を平和にしてくれるのはドナルドだけだ」などと尻尾を振り、巧言令色を振りまき、夕食会ではあの燥(はしや)ぎ。何と愚かしい。

冒頭で桐生の頃の時局は現在と似ていると書いた。現代も決して令和(清らかで穏やかな世)は相応しくない。

桐生に習って、令を「濁」に和を「乱」に改めて「濁乱」にしたらどうだろう。

「『令和』よ、お前は今日から、その名を『濁乱』と改めよ」

(文責 樋園)



野草折々-84-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

フェイジョア
(フトモモ科)



南米原産の常緑果樹で、日本では珍しい植物。花は白い花びらに真っ赤な雄しべが映える個性的な花です。

2026年5月22日

(写真は前之園信子さんの庭)



2026年度総会

2026年度 第39回くろつち会総会が、6月20日、千成で開催されました。



議長に選出された日高南海男さんは、童謡「青い目の人形」について報告されました。続いて松尾会長



10年前60名余りの参加者が半分近くで寂しいですが活発な会にしたい。

支部長と柳誠子さんは、鹿教組行事のため出席できず、メッセージが寄せられました。

谷口支部長「…平和教育への政治的介入が危惧されます。…」

柳誠子県議「来年4月の県議選に挑みたい。ご協力を。」

続いて来賓挨拶です。

前野県議「米軍の訓練が日常的に行われる。鹿屋も米軍のための基地になりつつある。」

労金の竹元さん「プレミアム定期2026 よろしく」

会長の「活発な会に」という言葉に呼応して、いつものように多くの発言が続きました。

○高市内閣の防衛力の抜本的強化、スパイ防止法、国旗損壊罪

制定等々強権的な議会運営や改憲の動きに対して多くの懸念する意見が出ました。

・その動きに対して私たちは何ができるのか。

・我々も街頭に出て高市内閣に対峙する行動を。金曜集会

・我々が頑張ったといえる方法を作り出そう

等々、次々と意見が出ました。

議案は提案通り承認されました。（報告 野口）



交流会

本分の総会よりも楽しみな交流会だ。交流会費は4千円の予定でしたが、千成本店さんとの長年の誼^{よしみ}なのか、或いは交渉の末なののでしょうか、

当日は3,500円で、500円得した気分。乾杯の音頭は山下耕平さん。



国際経済は大混乱に陥っていますが、本日は大いに飲んで語って、いやな思いを吹っ飛ばしましょう。かんぱい!

あちこちでグラス音が響き渡りました。

向こうでもはたまた



たちまち閉会の時間です。ガンバロウは久々参加の竹下幸男さんです。

帰ってきました。これからまた、よろしくお願いします。それでは団結してガンバロウ!

閉会の挨拶は飯山春男さん。

こちらでも旧交を温める声々。

数年前に大怪我のNさんをおこの日の会に「せめて全体会に」と誘うと「いや、交流会まで参加するぞ。」と話されたそう。久々の参加でした。

女性部の参加が少なかったのは、同日にリナシティで伊集院高校演劇部のハンセン病を題材にした演劇が上演されたためです。（私事ながら、この稿の筆者は交流会が終わり次第駆けつけて、十分間に合いました。）

花と違って人は毎年変わると言うが、やっぱり来年も同じで、この会に集まりましょうや。一人も欠けないで、頑張りましょう。



最後は日高南海男さんの音頭で日教組組唱歌。（文責、樋園）



お悔やみ申し上げます

最近永眠された方々のご芳名です。（掲載の遅延をお詫び致します）
橋口 廣明様 5月14日 79才
岩重セツ子様 6月 2日 90才
中野真由美様 7月 6日 69才
謹んでご冥福をお祈り致します。

第9回くろつち会作品展

2019年を最後にコロナの影響で中断していた作品展が復活します。第9回になります。

期日・会場は次の通りです。



11月6日～10日
イオンかのや3階
まだ作品募集中です。
眠っている作品をお持ちの方、これから製作される方、ジャンルと作品数を役員までお知らせ下さい。



これからの主な行事

12月までの主な行事です。日程変更があるかもしれません。

▲くろつち会GG大会

期日 10月4日(日)
会場 鹿屋GG会場
受付 8時半
開会 9時～
参加料 300円

ベ切 9月27日

詳細は別紙

▲共助会ボーリング大会

期日 10月23日(金)
時間 18時～
笠野原ボーリング場

▲共助会料理教室

12月6日(日)
東地区学習センター

▲学習会忘年会(次号で)

今こそ九条を世界の宝に

ー高市内閣の軍事大国化に抗してー

講師 小栗実さん 鹿大名誉教授

7月5日「九条の会おおすみ」総会の前段に行われた講演です。講師の小栗さんは、2016年11月、くろつち会学習会で憲法を巡る当時の政治状況について話してくださいました。今回も軽妙洒落な語り口で人柄が滲み出ていました。(以下要約)

1 高市政権が目指している方向

高市氏の好きな言葉は「国力」です。何かというと、高市氏の文章の中で、外交力、防衛・軍事力、経済力、技術力、情報力で、これらが強い国が国力のある国だという。5点は全て(国民生活ではなく)軍事に直結している。アメリカの強い外交力は軍事を背景にしているし、軍備を整えるには経済力、国産の装備には技術力、戦争遂行には情報力も大事というようにです。それらの具体化が今どんどん進んでいるという。

2 戦争する国への転換

昔は専守防衛と説明していたが、2015年の安保法制で集団的自衛権を行使できるようにした。しかし九条の縛りから「日本国民の自由と生命が犯された場合に」と書いてある。そのおかげでトランプはホルムズ海峡の機雷除去を要請できなかった。

ところが国会で、台湾有事は存立

危機事態に当たると答弁し、中国の反発は未だに続いています。

2つ目に気になるのは「日米軍事同盟」の強化です。鹿屋にも長距離ミサイルを置いての日米共同訓練は離島防衛と言うけれど、台湾とか、その周辺にある島々を想定している。また、自衛隊は敵基地攻撃能力を持てるまでになっている。「いづも」「かが」という空母もある。空母というのは敵を攻撃するための船です。

武器輸出について、1976年「日本は武器を売って儲けるような国ではありません!」(当時の宮澤喜一外相)と言っていたが、今や防衛産業や武器輸出を積極的に進めると公言しています。

自衛隊の階級名を昔の大日本帝国陸海軍が使っていた名称を採用したり、航空自衛隊の名称を航空宇宙自衛隊に変えたり、軍事強化の動きが急速に、現政権の中で進行中です。

3 九条改悪の動き

九条の会ができた2014年ごろは憲法改正とまでは言わなかったが、衆議院の圧倒的多数を背景に九条改正を言い出した。まとめると

「憲法九条の2」追加案(自民党)
「憲法九条2項改悪」案(維新の会)
「憲法九条全面削除」案(参政党)

憲法九条を変えるという動きが差し迫った問題になってきています。

4 国民(有権者)はどう見ているか

志布志九条の会が行った改正を問う

シール投票で、九条を知らない、との回答も多かった。その中に中国脅威論を話す人もいたそうです。

日本は2010年頃から中国敵視政策へ舵を切ってきている。そういう流れの中で九条改正案というのが言われているというのが問題です。

九条は日本にとって、とても大切なんだということを再度自分たちも勉強したり、確認したりする。そしてそれを他の人に伝えていくということがとっても大切だと思います。

5 憲法九条のそもそもの意義・内容

戦争加害の歴史の反省から生まれたこと、1928年不戦条約(日本を含む63カ国が批准)の戦争放棄を取り入れていること、憲法には軍事に関する規定はないことなどを話された。

6 もし憲法九条をなくしたら

自衛隊が憲法に明記されると、軍事上の利益が公共の利益となり最優先されます。例えば報道規制が行われます。また18条に苦役からの自由というのがあって今は徴兵制はないけれど、それが復活する。

7 「九条を守り、牛かす」とは?

国連憲章にのっとった外交政策、非核三原則の堅持、仮想敵国を作らずどんな軍事同盟にも加わらないなど、憲法九条を守るっていうことと同時に、日本の国を平和の方向に変えていくという努力をしなければいけないんじゃないか。(雑ぱくなまとめで面目なし、文責 樋園)